

# ペガちゃんフロ5 「ネイチャーボックス」(自然散策・創作活動)[小学3・4年図画工作科]

ねらい	当所の活動プログラム「自然散策・創作活動」と小学校図画工作第3学年及び第4学年内容「A表現(1)ア、ウ、(2)ア、イ、ウ」「B鑑賞(1)ア、イ」を関連させたプログラムである。自然の材料を集めて空き箱に個々の思いのままに詰めたり、並べたりして作品を作り、お互いの作品鑑賞を通して、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことをねらいとしている。
概要	当所周辺で木の実や落ち葉を拾い、拾った物の特徴を生かして空き箱にオリジナルの並べ方を楽しみ、作品の鑑賞を行うことができる。
よさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然散策を行うことで、季節の自然について理解するとともに、拾った物を使って、創作活動ができる。</li> <li>○ 活動場所に危険箇所が少ないことから、子どもたちは身体を使って存分に活動することができる。</li> <li>○ 広い室内で、お互いの作品を鑑賞することができる。</li> <li>○ 当所のクラフト体験を通して、公共施設の利用の仕方などを学ぶ機会となる。</li> </ul>

- 校種・学年 小学校 第3・4学年
- 教科 図画工作科
- 内容 A表現(1)ア、ウ、(2)ア、イ、ウ、B鑑賞(1)ア、イ
- 展開 (例：90分)

過程	主な学習活動 ※ ( ) …指導者	時間(分)	指導の手立て
導入	1 自然の家でどんなものが集められるか考える。(引率者)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然の家にはどんなものがあるか意見を出させることで、自分の持ってきた箱に何を入れるか見通しをもたせるようにする。</li> <li>○ 教科書や見本を参考にすることで、箱に何をどのように入れるか見通しをもたせるようにする。</li> <li>○ どのようなコレクションにするのか自分なりのテーマをもたせるようにする。</li> <li>○ 具体物を提示することで拾う際の安全指導を徹底できるようにする。(危険なものは触らない、動物は拾わない、拾ったものを投げないなど)</li> <li>○ 集めた材料の特徴(形や色、手触り)を捉えるように助言をする。</li> <li>○ 集めた材料の特徴や自分のテーマを考慮して、箱に並べるように言葉かけをする。</li> <li>○ 自分の作品で工夫した点などを伝え、友だちの作品のよいところを見つけさせるようにする。</li> <li>○ 自己の学びを振り返り、自己の変容や成長を自覚させ、充実感や満足感を味わわせ、次の活動への意欲を高める。</li> </ul>
	2 学習のめあてをつかむ。(引率者)	5	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     自然のものを集めて、空き箱に入れると、どんなマイコレクションを作れるかな。                 </div> 3 学習の見通しをもつ。(引率者) (1) 自然の家内の自然散策をする。 (2) 集めた材料の特徴を知る。 (3) 集めた材料を箱に並べる。 (4) 相互鑑賞をする。		
	4 自然の家周辺の自然散策をする。(自然の家職員)	30	
	5 集めた材料の特徴を調べる。(引率者・自然の家職員)	5	
	6 集めた材料を箱に並べる。(引率者・自然の家職員)	40	
終末	7 自分と友だちの作品のよさを見つける。	5	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     箱の集めた材料の特徴を生かして、自分のテーマに沿った作品が作ることができた。                 </div> 8 活動を振り返る。	2	

- 事前に準備するもの
  - (自然の家)： 木工用ボンド、はさみ、カッティングマット、グルーガン  
自然物(松ぼっくり、どんぐり、フウの実など)
  - (学校)： ビニル袋、空き箱(お菓子の箱やプラスチック容器等)、軍手、水筒